

市町村では水防法の規定に基づき、国・県が公表した洪水浸水想定区域図に洪水予報の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載した「洪水ハザードマップ」を作成し、印刷物の配布やインターネット等により住民の方々に周知しています。

本市においても、令和2年4月に「郡山市洪水ハザードマップ」を改訂し周知しているところですが、市民の皆さまの洪水ハザードマップにおける認知度について調査を行うため、アンケートを実施しましたので、その結果をお知らせいたします。

(河川課)

### 調査概要

- 調査期間 令和2年11月18日(水)～11月27日(金) (10日間)
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を送信する。
- モニター数 360名 (男性 172名 女性 188名)
- 回答者数 314名 (男性 152名 女性 162名)
- 回答率 87.2%

### 【分析】

《回答者内訳(人)》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	6	5	15	29	32	17	40	8	152
女性	7	9	38	53	38	14	2	1	162
合計	13	14	53	82	70	31	42	9	314

《ハザードマップについて》

- ・郡山市洪水ハザードマップについて95.5%が「知っている」、4.5%が「知らない」と回答。認知度はとても高いと言える。
- ・わかりやすさについて、64.5%が「わかりやすかった」、6.1%が「わかりにくかった」、29.4%が「どちらともいえない」と回答

《洪水ハザードマップの内容について》

- ・浸水想定区域が拡大されたことについて、41.1%が「知っている」もしくは「ある程度知っている」と回答
- ・防災関係情報の掲載について、52.2%が「知っていて確認もした」もしくは「知っているが確認したことはない」と回答
- ・早期立退き避難が必要な区域の設定について、31.5%が「知っていて確認もした」もしくは「知っているが確認したことはない」と回答
- ・令和元年東日本台風(台風19号)の浸水実績の表示について、52.2%が「知っていて確認もした」もしくは「知っているが確認したことはない」と回答

《避難等について》

- ・垂直避難に特化した避難場所の追加について、27.4%が「知っている」もしくは「ある程度知っている」と回答

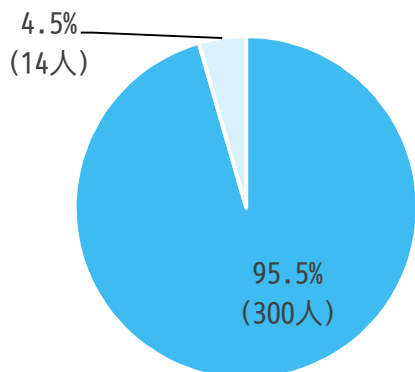
### 【考察】

- ・郡山市洪水ハザードマップは令和2年6月に全戸配布を行ったため、市民の認知度はとても高い。しかし、実際にハザードマップの内容について確認されている方の割合は少ない。特に年代が若くなるにつれてハザードマップの内容について認知度は低い傾向にある。このことから、10代から20代の若い世代を対象に周知・啓発を行っていく必要がある。

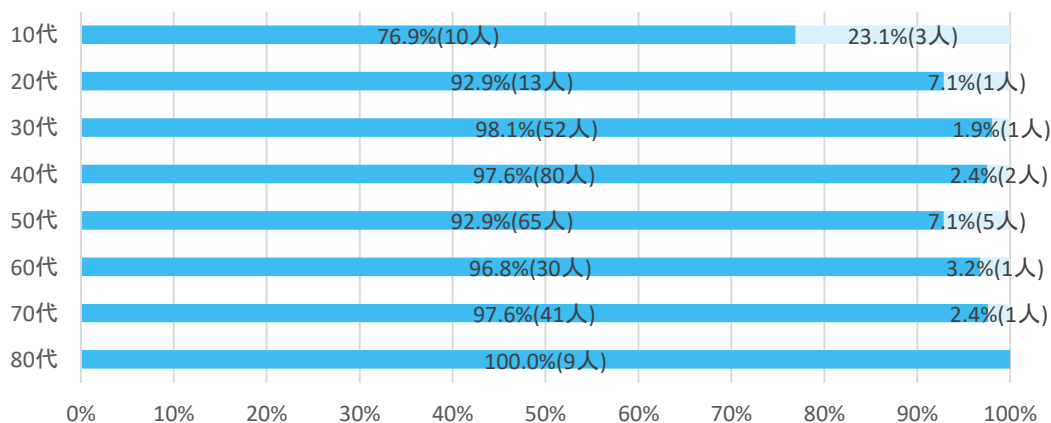
※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

## 第1章 ハザードマップについて

問1 郡山市洪水ハザードマップ（以下、洪水ハザードマップ）をご存知ですか？（1つ選択）  
（回答者：314人）

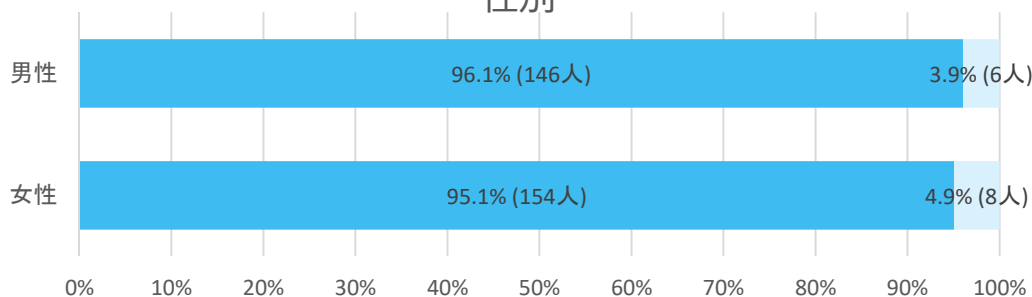


■ 知っている ■ 知らない  
年代別



■ 知っている ■ 知らない

### 性別

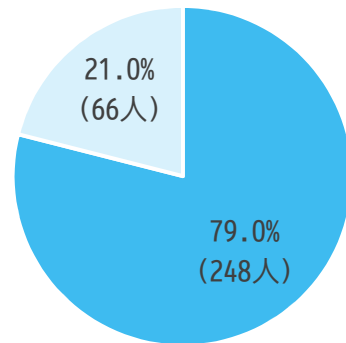


■ 知っている ■ 知らない

全体の95.5%が「知っている」と回答。年代別では10代を除いたすべての世代において9割を超えていることから、郡山市洪水ハザードマップの認知度はとても高い。なお、10代においても76.9%と8割近くが認知している。

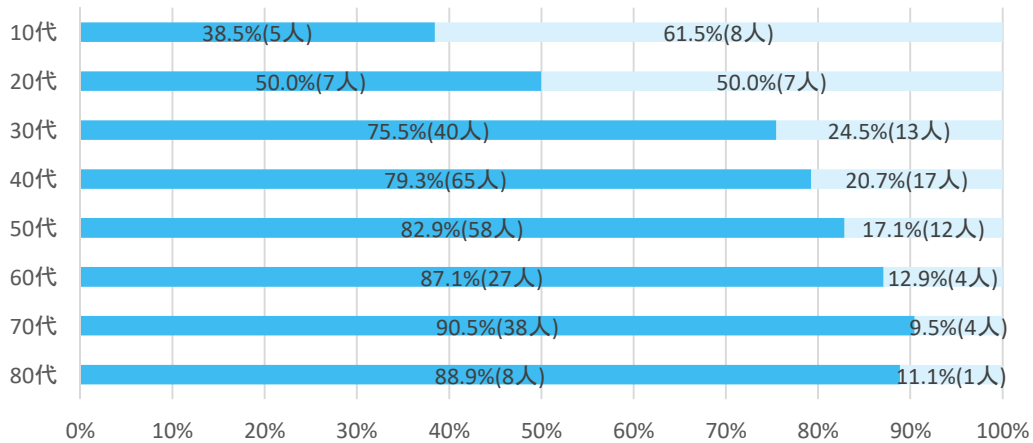
問2 令和2年4月に洪水ハザードマップが改訂され、全戸配布されたことをご存知ですか？  
(1つ選択)

(回答者：314人)



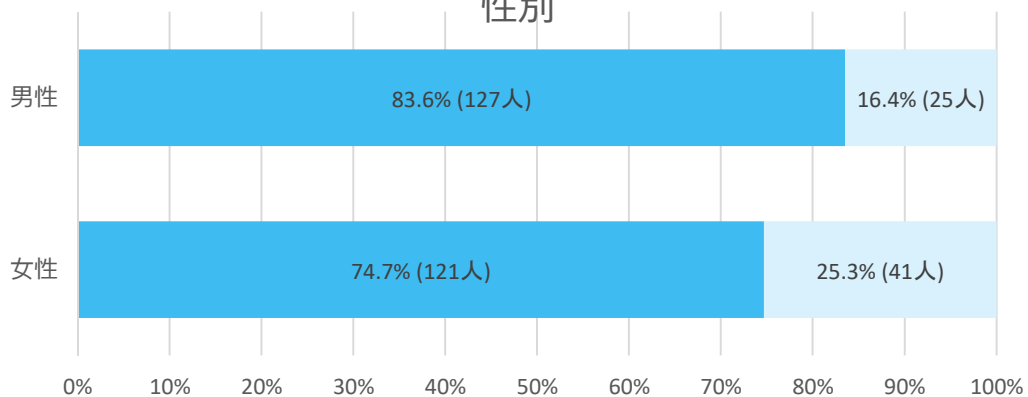
■ 知っている ■ 知らない

年代別



■ 知っている ■ 知らない

性別

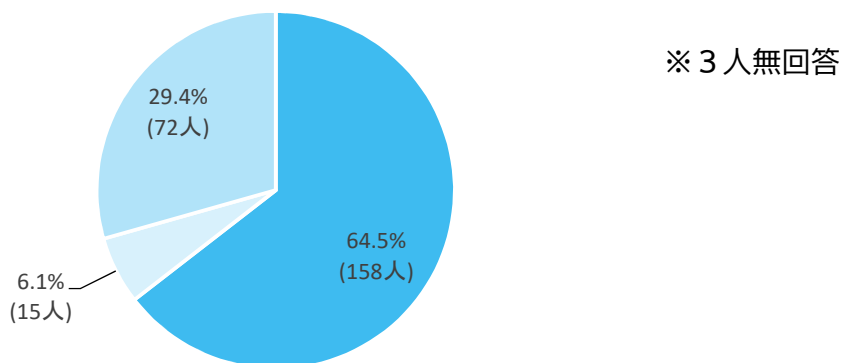


■ 知っている ■ 知らない

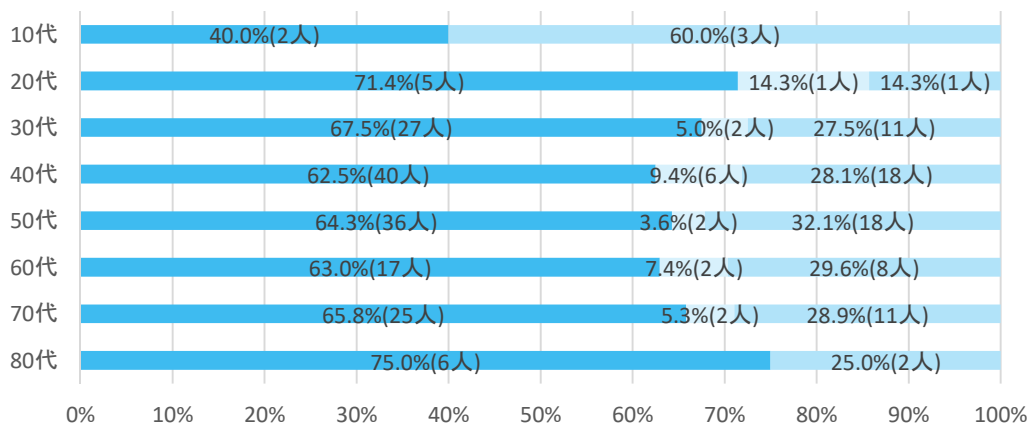
全体の79.0%の人が「知っている」と回答。  
年代別では30代以上から7割を超えており、年代が上がるにつれて認知度も高い傾向にある。  
男女別では男性が83.6%、女性が74.7%であった。

問3 問2で「知っている」を選択した方にお伺いします。今回改訂された洪水ハザードマップは、わかりやすかったですか？（1つ選択）

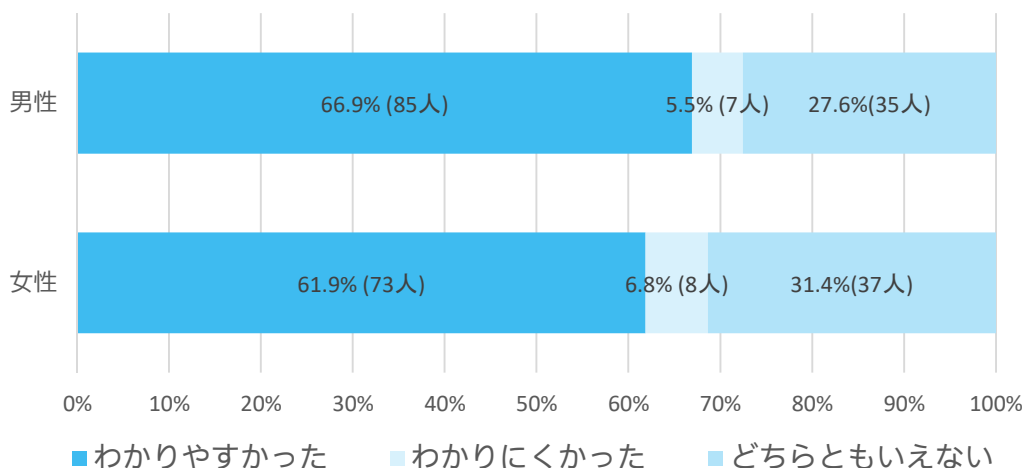
（回答者：248人）



■ わかりやすかった ■ わかりにくかった ■ どちらともいえない  
年代別



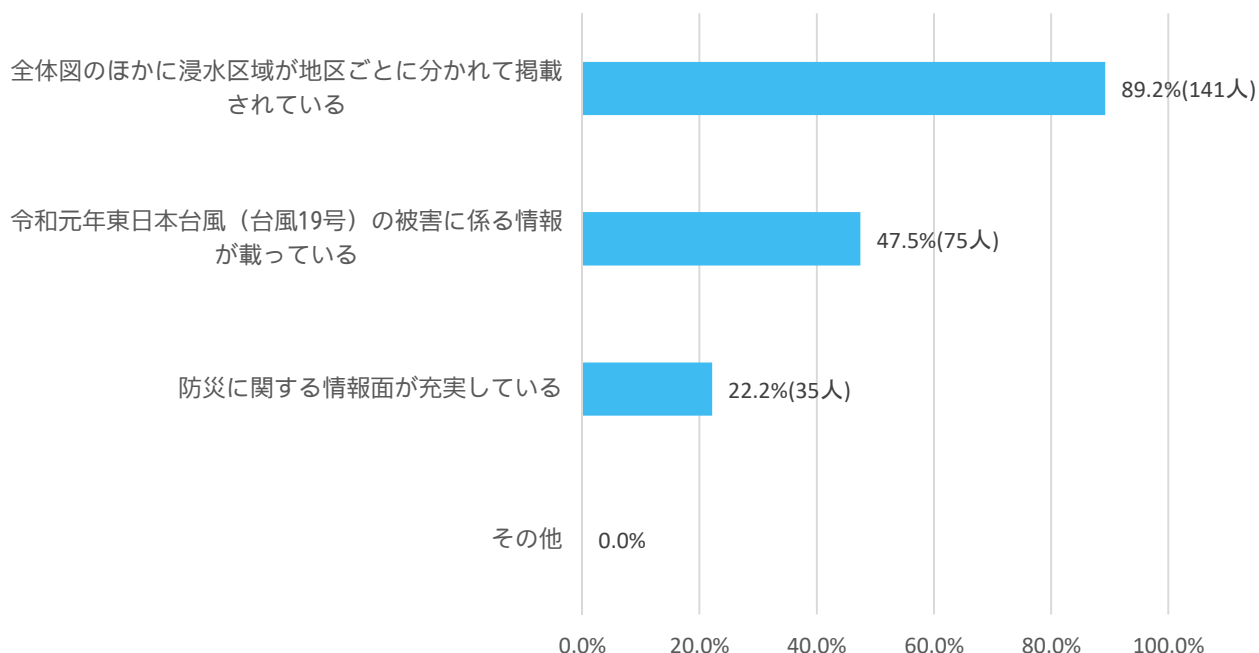
■ わかりやすかった ■ わかりにくかった ■ どちらともいえない  
性別



全体の64.5%の人が「わかりやすかった」と回答。  
 年代別では20代から80代において約6割から7割が「わかりやすかった」と回答しているが、10代が4割と低かった。  
 10代においては出前講座等によりハザードマップの使い方について周知・啓発する必要があると考える。

※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。

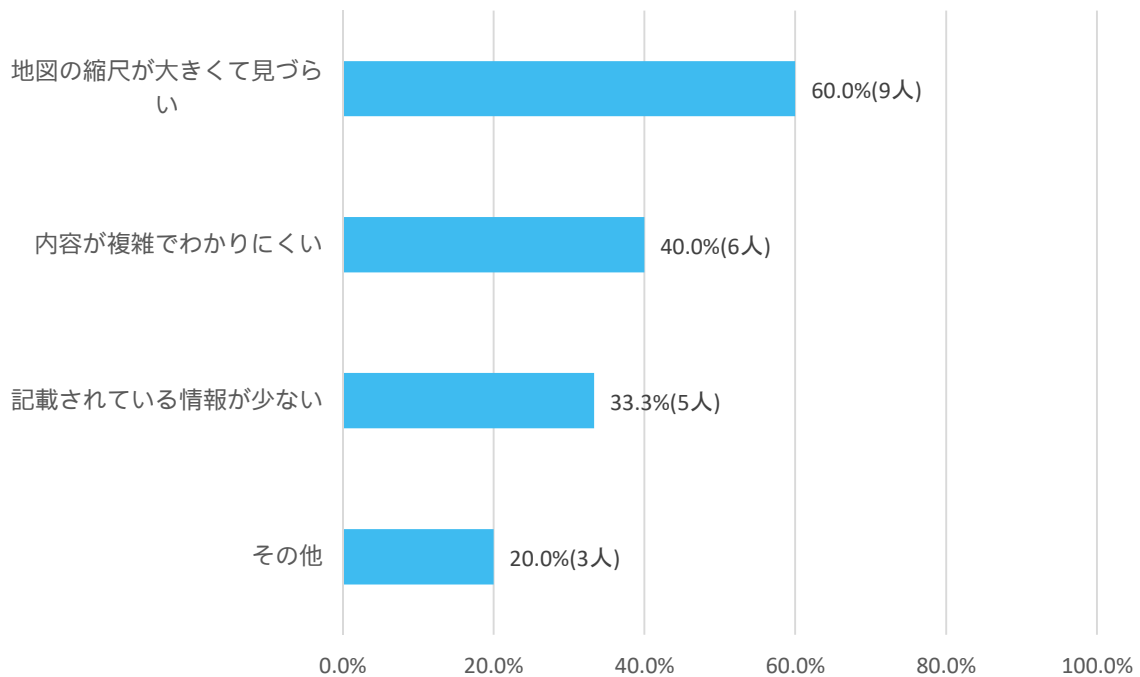
**問4 問3で「わかりやすかった」を選択した方にお伺いします。わかりやすかった点はどこですか？（複数選択可）** （回答者：158人）



問3で「わかりやすかった」と回答している理由として、「全体図のほかに浸水区域が地区ごとに分かれて掲載されている」が89.2%と最も高く、次いで「令和元年東日本台風（台風19号）の被害に係る情報が載っている」の47.5%であった。

問5 問3で「わかりにくかった」を選択した方にお伺いします。わかりにくかった点はどこですか？（複数選択可）

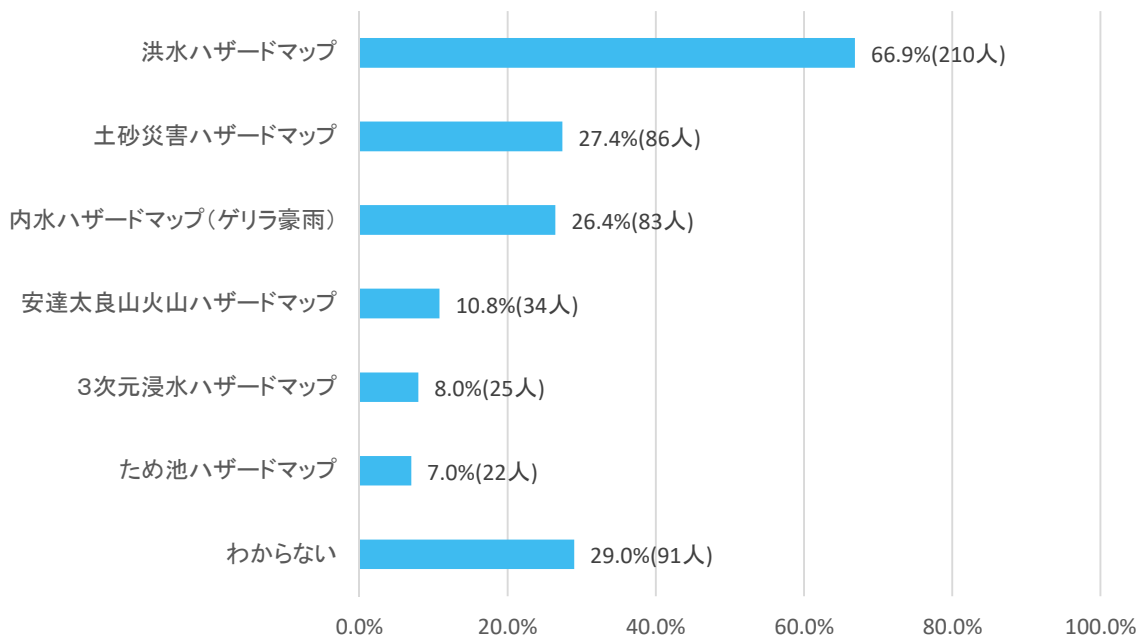
(回答者：15人)



問3で「わかりにくかった」と回答している理由として、「地図の縮尺が大きくて見づらい」が60.0%と最も高く、次いで「内容が複雑でわかりにくい」の40.0%であった。今後、改訂の際には、地図の縮尺や内容について再度検討する必要がある。

問6 郡山市では地震や風水害（洪水や土砂災害）に関するハザードマップをウェブサイトで公開しています。ご存知のものをすべて選択してください。（複数選択可）

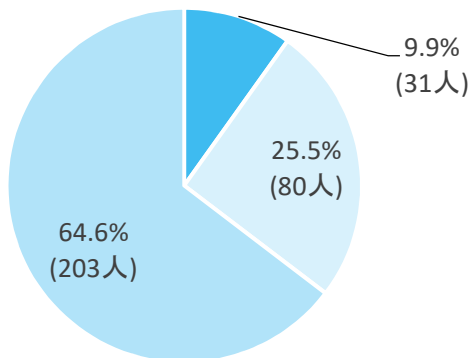
（回答者：314人）



郡山市がウェブサイトで開催しているハザードマップとして、「洪水ハザードマップ」が66.9%と最も高く、次いで「土砂災害ハザードマップ」が27.4%であった。  
このことから、ウェブサイトにおける郡山市洪水ハザードマップの認知度は高いと言える。

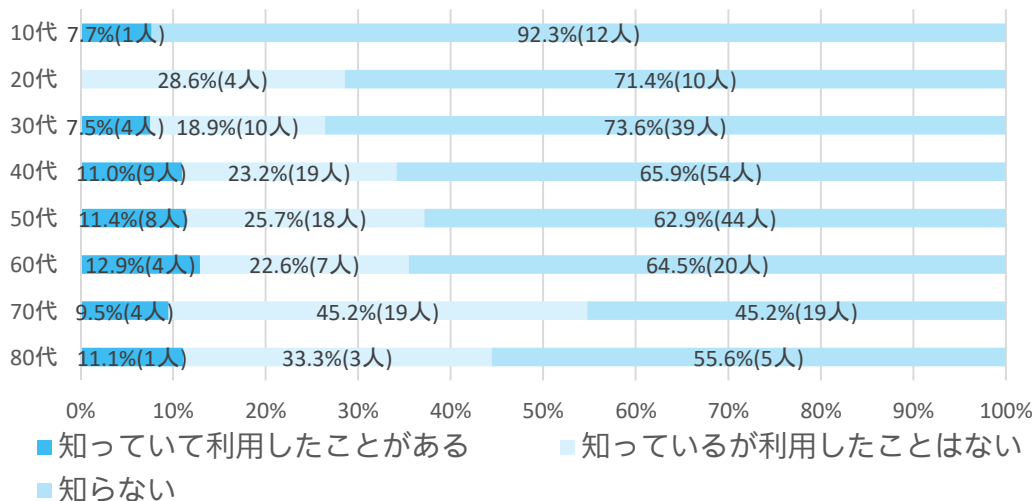
問7 インターネットで郡山市の施設マップ、防災マップ、公園マップ航空写真などを見ることができるサービス「郡山市地理情報システム」をご存知ですか？（1つ選択）

（回答者：314人）

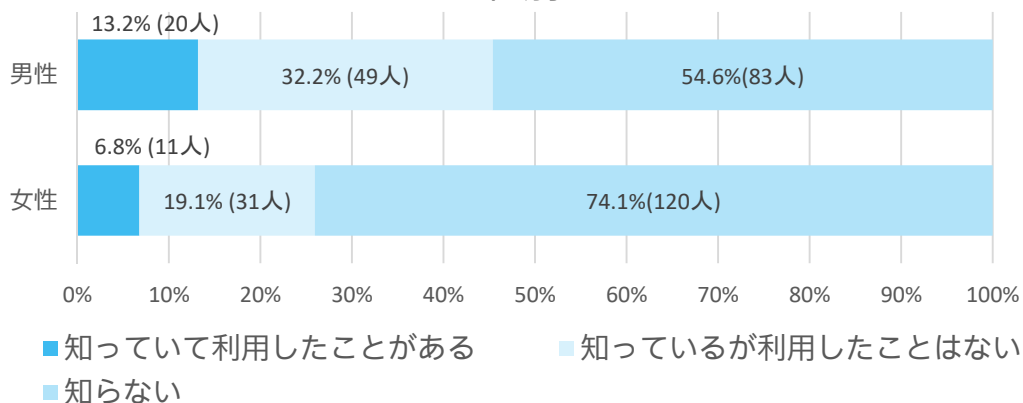


- 知っているが利用したことがある
- 知っているが利用したことはない
- 知らない

年代別



性別

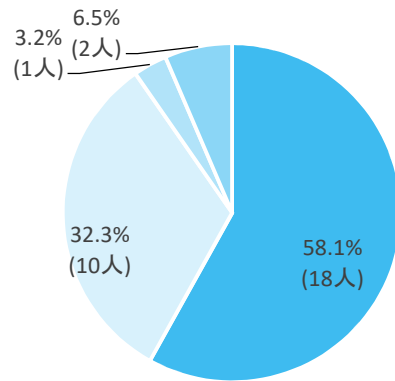


全体の35.4%が「知っているが利用したことがある」もしくは「知っているが利用したことはない」と回答。  
 年代別では70代が54.7%と最も高く、次いで80代が44.4%であった。  
 男女別では男性が45.4%、女性が25.9%であった。



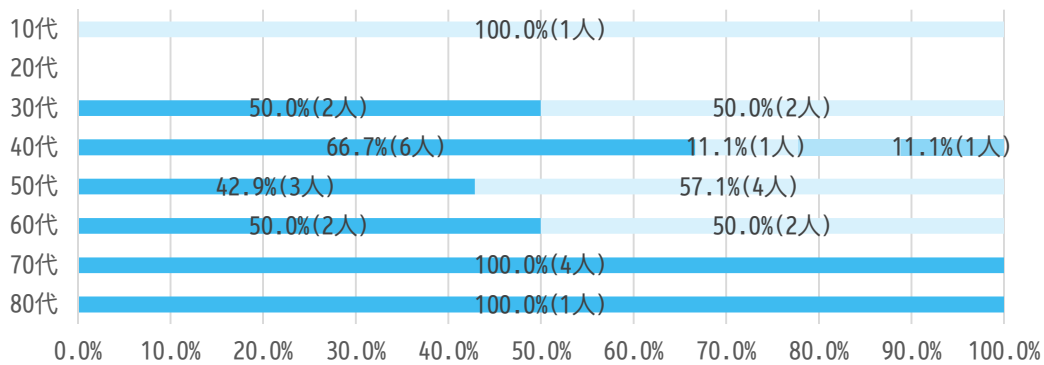
問8 問7で「知っている利用したことがある」を選択した方にお伺いします。  
郡山市地理情報システムで洪水ハザードマップに表示されている「洪水浸水想定区域」  
を確認できることをご存知ですか？（1つ選択）

(回答者：31人)



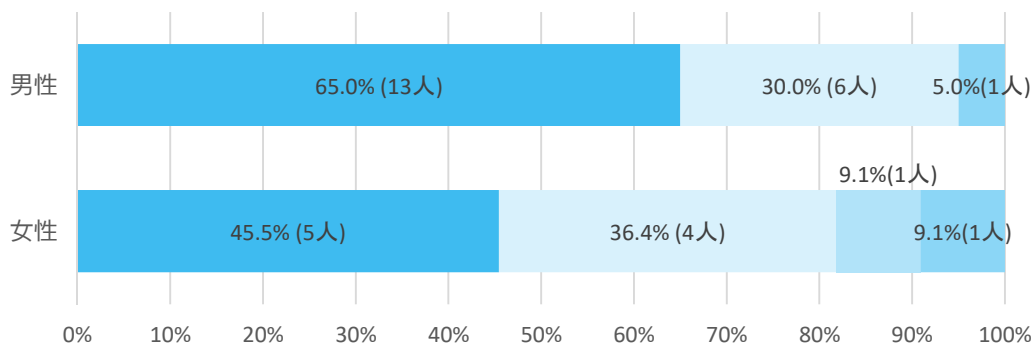
- 知っているが確認したことはない
- 知っているが使い方がわからない
- 知らない
- 知っているが確認したことはない

### 年代別



- 知っているが確認したことはない
- 知っているが使い方がわからない
- 知らない
- 知っているが確認したことはない

### 性別



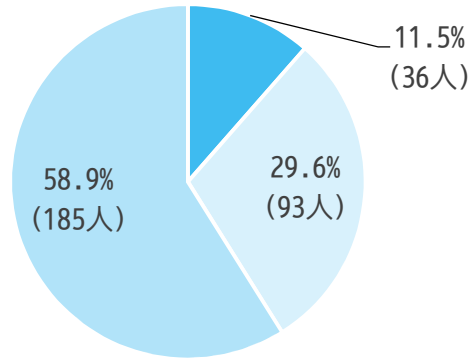
- 知っているが確認したことはない
- 知っているが使い方がわからない
- 知らない
- 知っているが確認したことはない

問7で「知っている利用したことがある」と回答した方で、「知っているが確認した」方は58.1%、「知っているが確認したことはない」方は32.3%だった。  
現在、出前講座やハザードマップ配布の際は郡山市地理情報システムで確認できることを周知しているが、引続き行っていく必要がある。

## 第2章 洪水ハザードマップの内容について

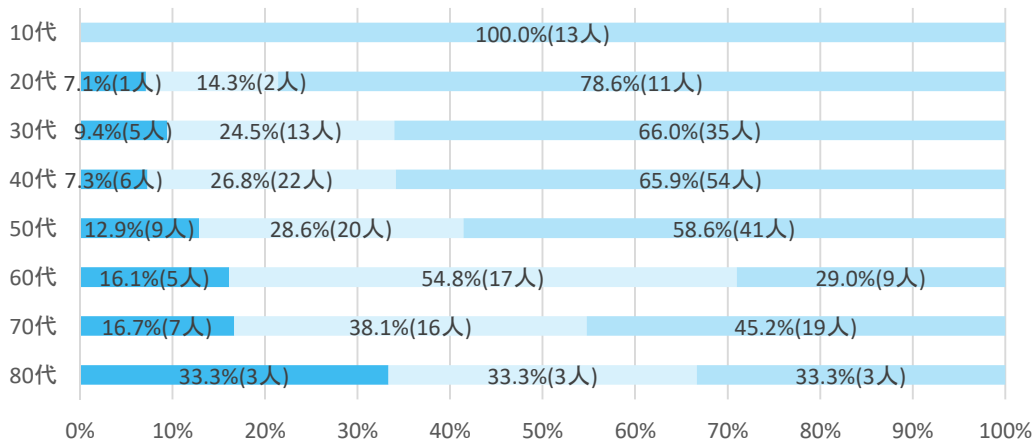
問9 平成27年の水防法改正に基づき、洪水浸水想定区域が見直されたことから、郡山市においても浸水想定範囲が拡大（約1.3倍）されたことをご存知ですか？（1つ選択）

（回答者：314人）



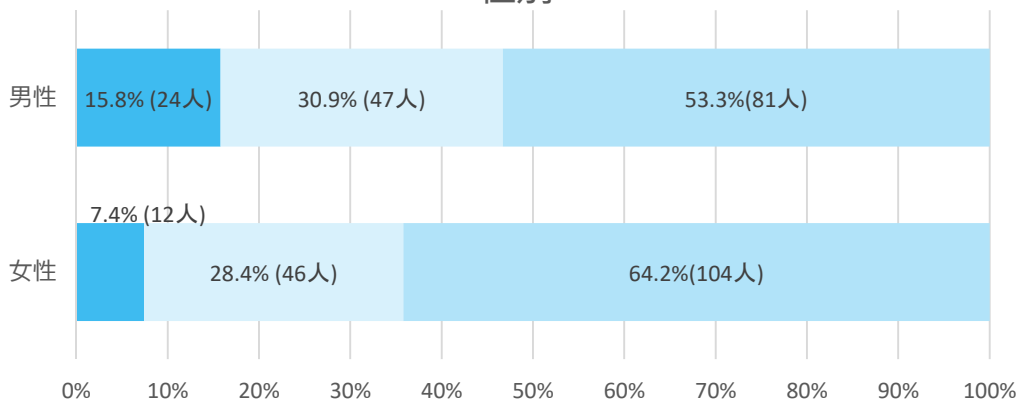
■ 知っている ■ ある程度知っている ■ 知らない

### 年代別



■ 知っている ■ ある程度知っている ■ 知らない

### 性別

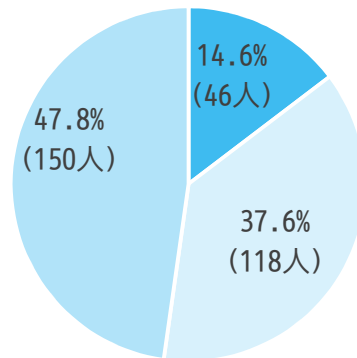


■ 知っている ■ ある程度知っている ■ 知らない

全体の41.1%が「知っている」もしくは「ある程度知っている」と回答。  
年代別では、60代が70.9%と最も高く、次いで80代が66.6%であった。その一方で、10代においては0%と浸水想定範囲が拡大について認知されていなかった。

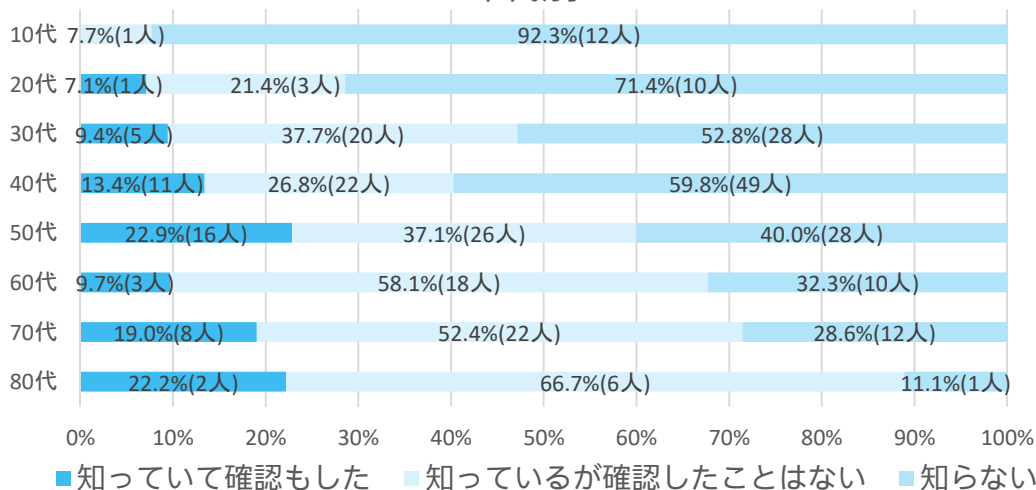
問10 洪水ハザードマップには、洪水浸水想定区域のほかに、「郡山市からの情報伝達とさまざまな情報の入手先」や「警戒レベルとみなさんがとるべき避難行動」、「国土交通省からの河川の水位状況と注意・警戒情報」についても掲載されていることをご存知ですか？（1つ選択）

（回答者：314人）



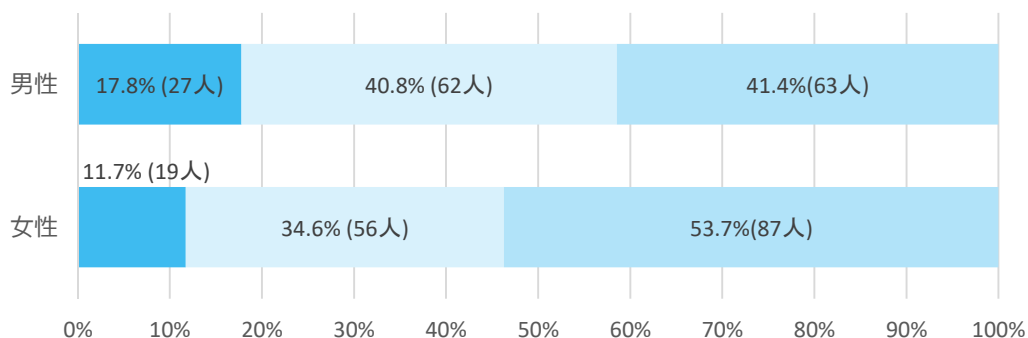
■ 知っている確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない

### 年代別



■ 知っている確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない

### 性別



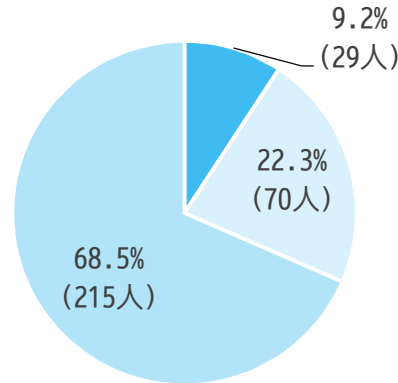
■ 知っている確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない

全体の52.2%が「知っている確認もした」もしくは「知っているが確認したことはない」と回答。その中で実際に確認した方の割合は14.6%であった。  
 年代別では80代が88.9%と最も高く、次いで70代が71.4%であった。それぞれ、実際に確認された方の割合は80代が22.2%、70代が19.0%であった。  
 男女別では男性が58.6%、女性が46.3%であった。それぞれ、実際に確認された方は、男性が17.8%、女性が11.7%であった。

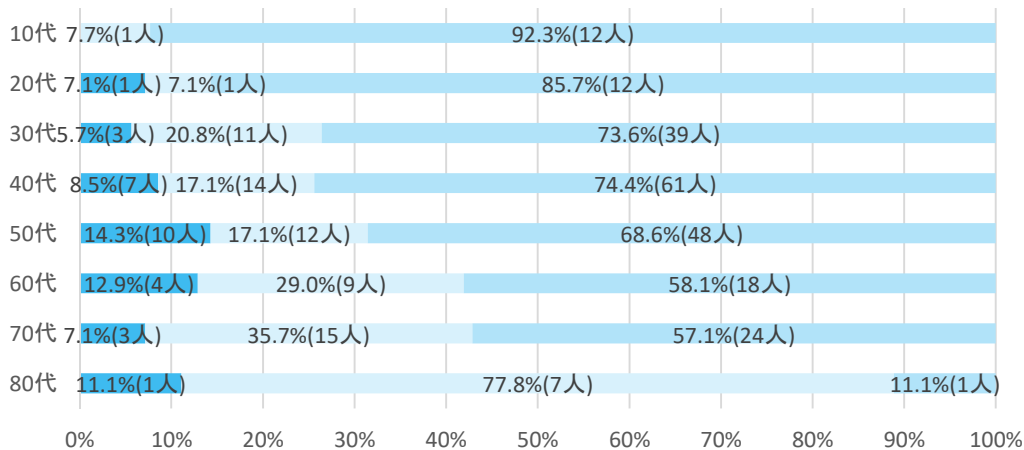
問 11 今回の改訂に伴い、洪水浸水想定区域のほかに、新たに「早期の立退き避難が必要な区域(※)」が設定されたことをご存知ですか？（1つ選択）

（回答者：314人）

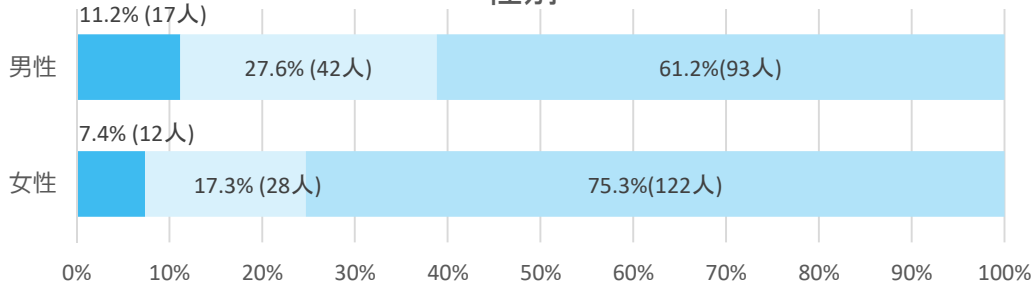
(※) 早期の立退き避難が必要な区域とは、浸水深が3m以上かつ氾濫流や河岸浸食により家屋倒壊の恐れがある区域



■ 知っていて確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない  
年代別



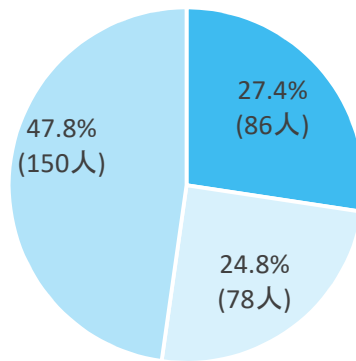
■ 知っていて確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない  
性別



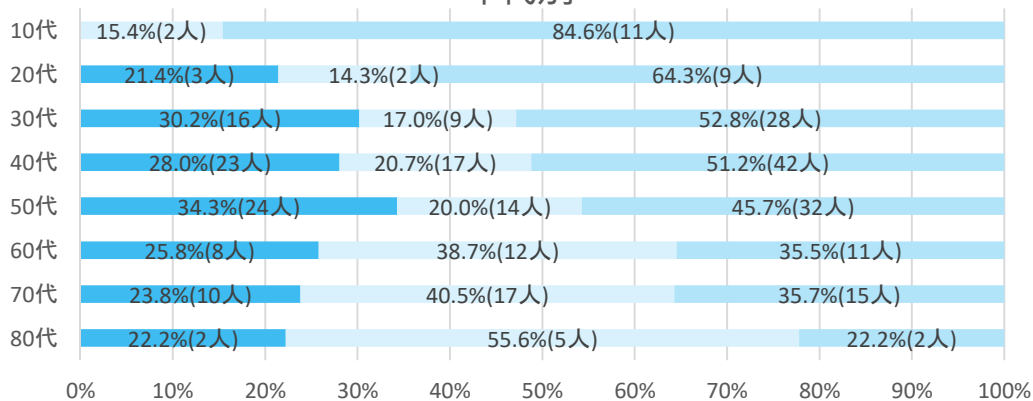
■ 知っていて確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない

全体の31.5%が「知っていて確認もした」もしくは「知っているが確認したことはない」と回答。その中で実際に確認した方の割合は9.2%であった。  
 年代別では80代が88.9%と最も高かったが、その中で実際に確認された方は11.1%であった。  
 男女別では男性が38.8%、女性が24.7%であった。その中で実際に確認された方は男性が11.2%、女性が7.4%であった。

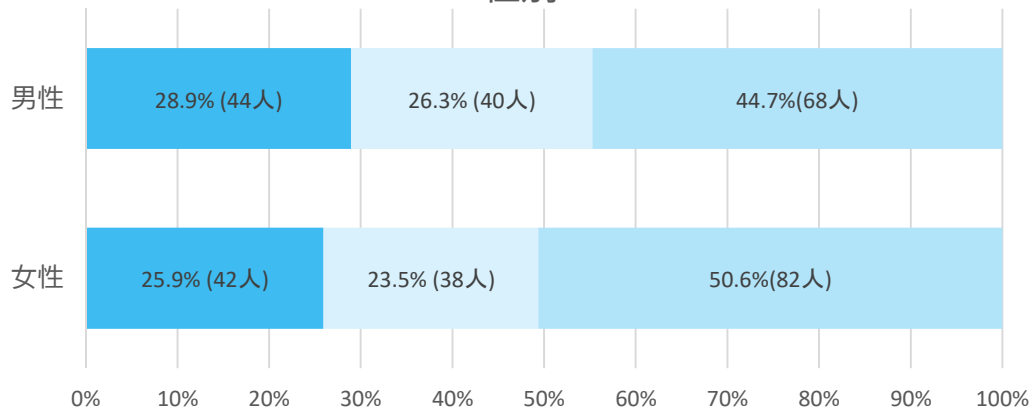
問12 今回の改訂に伴い、既往最大の浸水被害となった令和元年東日本台風（台風19号）による浸水実績が表示されていることをご存知ですか？（1つ選択）（回答者：314人）



■ 知っていて確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない  
年代別



■ 知っていて確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない  
性別

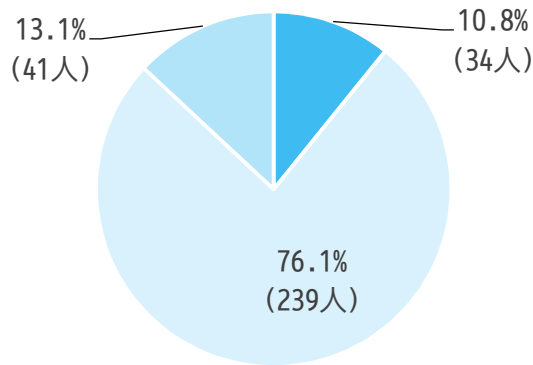


■ 知っていて確認もした ■ 知っているが確認したことはない ■ 知らない

全体の52.2%が「知っていて確認もした」もしくは「知っているが確認したことはない」と回答。  
 年代別では80代が77.8%と最も高く、次いで70代が64.3%であった。その中で、確認された方は80代が22.2%、70代が23.8%であった。  
 男女別では男性が55.2%、女性が49.4%であった。その中で、確認された方は男性が28.9%、女性が25.9%であった。

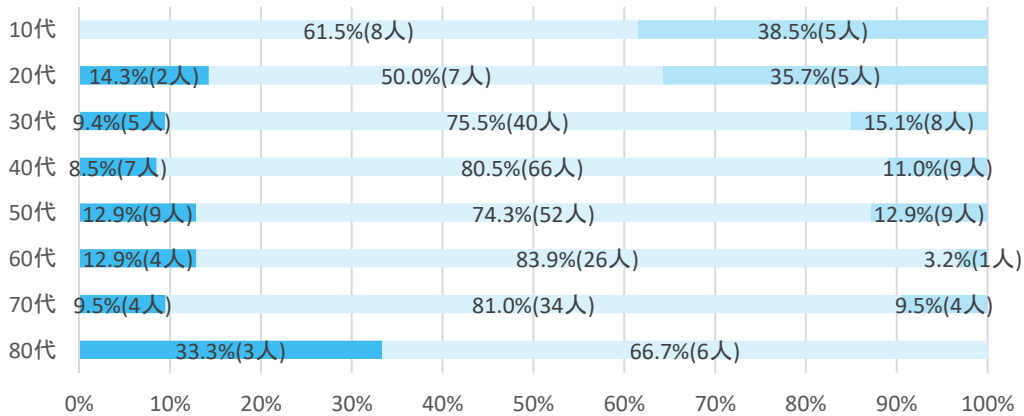
問 13 洪水ハザードマップ等により自宅や学校・職場周辺の水害リスクについて理解している  
 と思いますか？（1つ選択）

（回答者：314人）



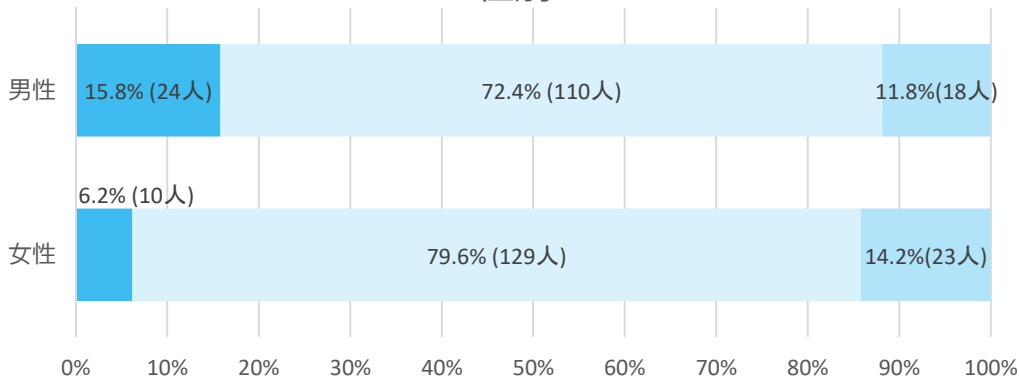
■十分に理解している ■ある程度理解している ■全く知らない

年代別



■十分に理解している ■ある程度理解している ■全く知らない

性別



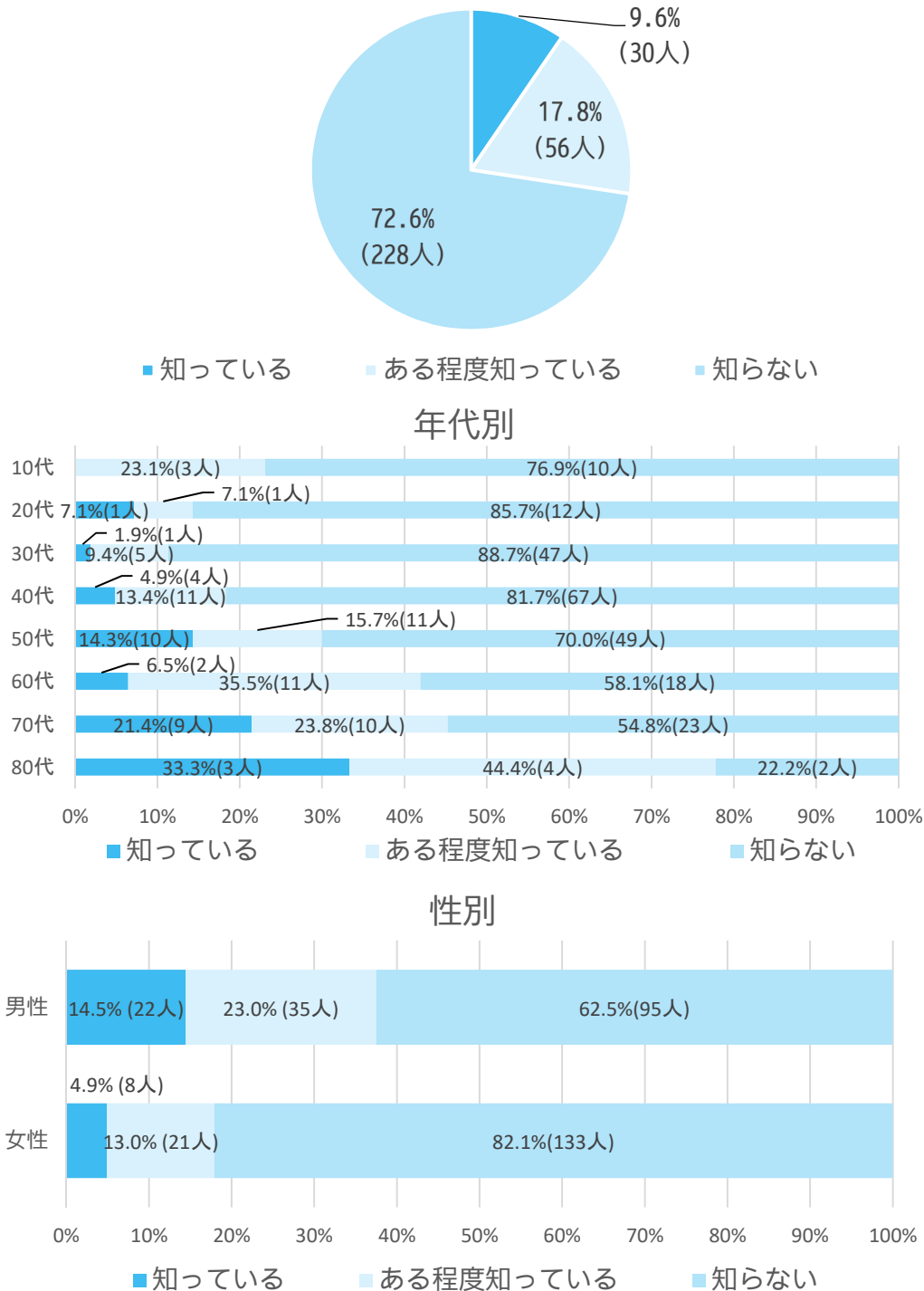
■十分に理解している ■ある程度理解している ■全く知らない

全体の86.9%が「十分に理解している」もしくは「ある程度理解している」と回答。  
 年代別では80代が100.0%と最も高く、次いで60代が96.8%であった。  
 男女別においても、男性が88.2%、女性が85.8%であり高い値を示した。

### 第3章 避難等について

問 14 今回の改訂に伴い「日本大学工学部・70号館」及び「帝京安積高校・アリーナ」が  
**垂直避難**(※)に特化した避難場所として、新たに追加されたことをご存知ですか？  
 (1つ選択) (回答者：314人)

(※) 垂直避難とは、自宅やビルなどの建物の上層階に避難すること

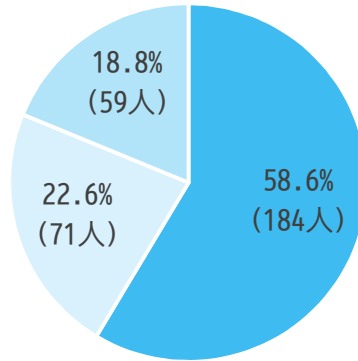


全体の27.4%が「知っている」もしくは「ある程度知っている」と回答。  
 年代別では80代が77.7%と最も高く、20代が14.2%と最も低かった。  
 男女別では、男性が37.5%、女性は17.9%であった。

問 15 あなたは、「車中避難(※)」という言葉をご存知ですか？(1つ選択)

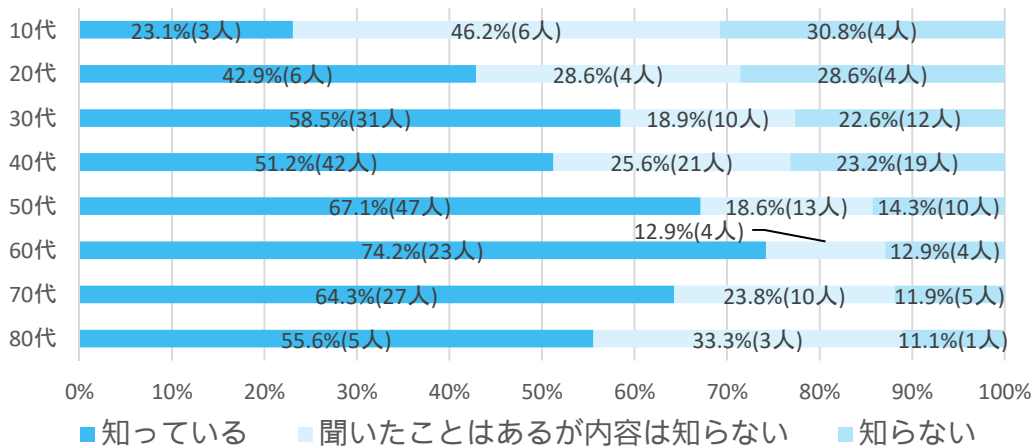
(回答者：314人)

(※) 車中避難とは避難所の3密を防ぐための分散避難の一つ



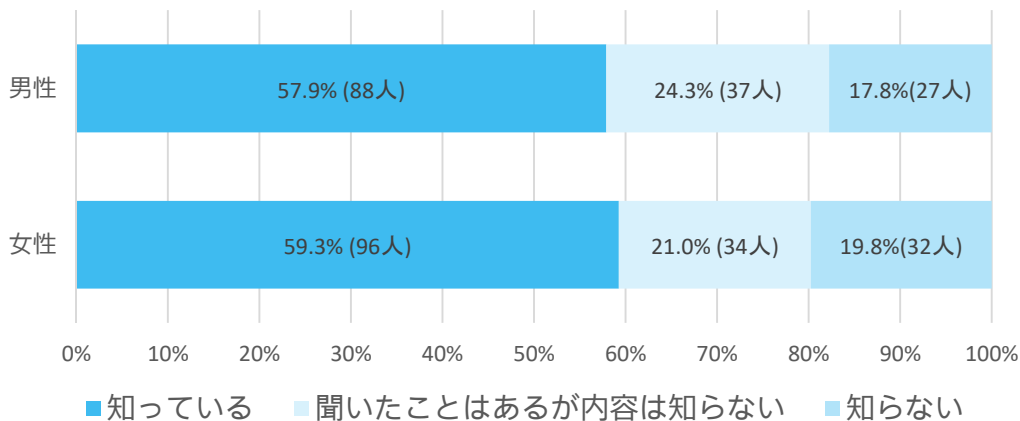
■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ■ 知らない

年代別



■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ■ 知らない

性別



■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ■ 知らない

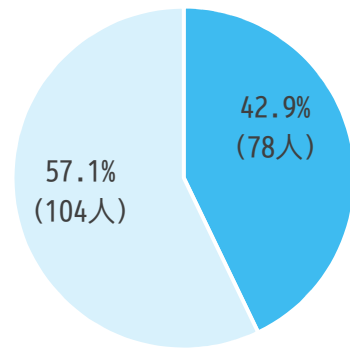
全体の58.6%が「知っている」と回答。  
 年代別では、30代から80代が5割を超えており、その中でも60代が74.2%と最も高かった。  
 男女別では男性が57.9%、女性が59.3%と回答。



問 16 問15で「知っている」を選択した方にお伺いします。郡山市では車中避難を行うために、公共施設や公園、民間等の駐車場を駐車場所として指定していることをご存知ですか？（1つ選択）

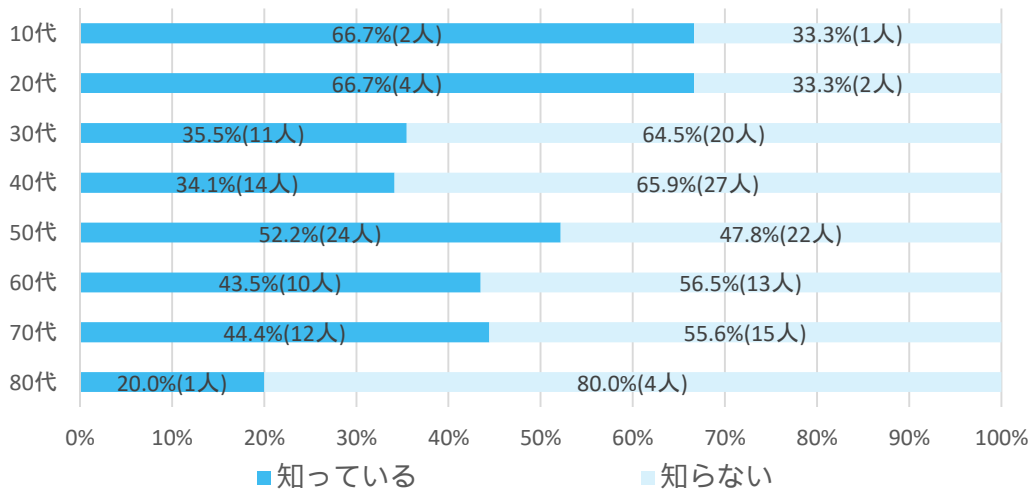
（回答者：184人）

※2人無回答



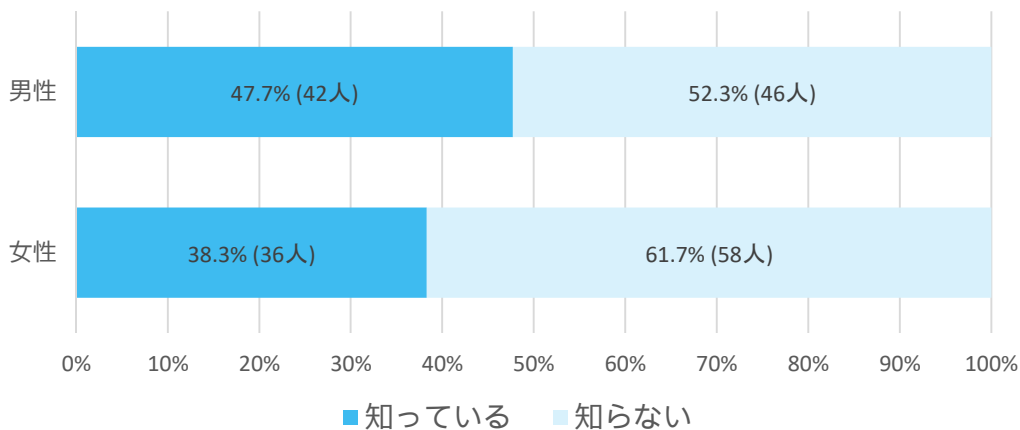
■ 知っている □ 知らない

### 年代別



■ 知っている □ 知らない

### 性別



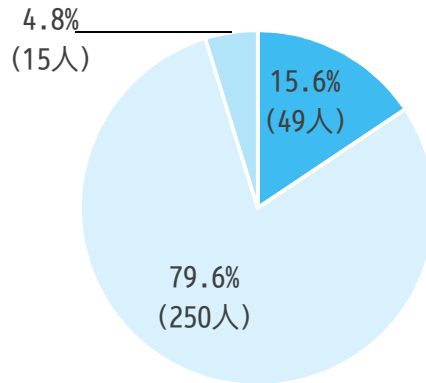
■ 知っている □ 知らない

全体の42.9%が「知っている」と回答。  
 また、男女別では男性が47.7%、女性が38.3%と回答。女性よりも男性の方が認知度が高い結果となった。

## 第4章 その他

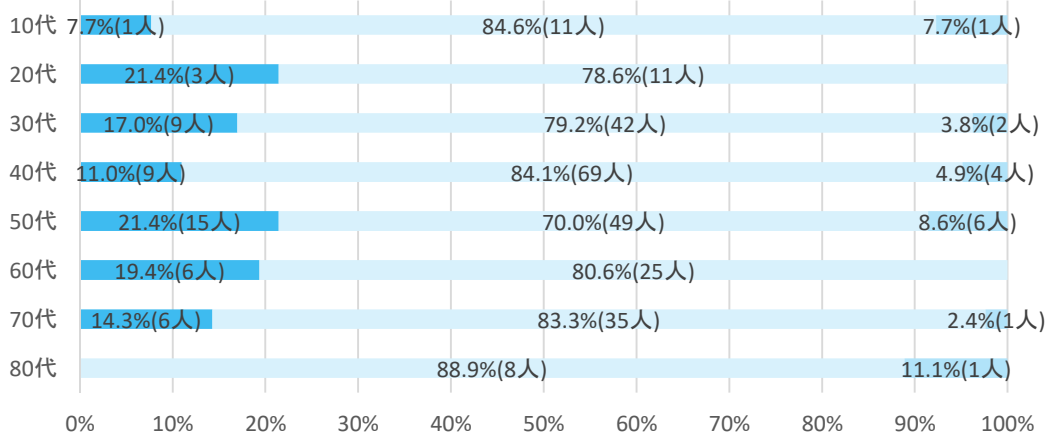
問 17 今回のアンケートを機に洪水ハザードマップを活用しようと思いますか？  
(1つ選択)

(回答者：314人)



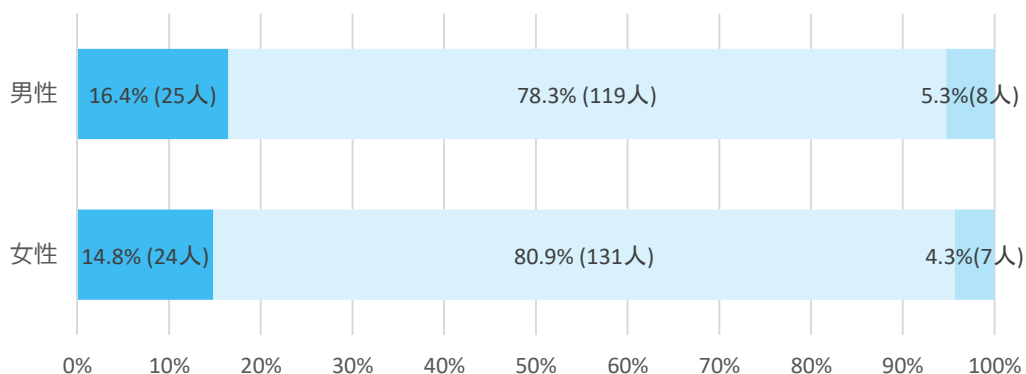
■ 既に活用している ■ 活用を考えている ■ 活用を考えていない

### 年代別



■ 既に活用している ■ 活用を考えている ■ 活用を考えていない

### 性別

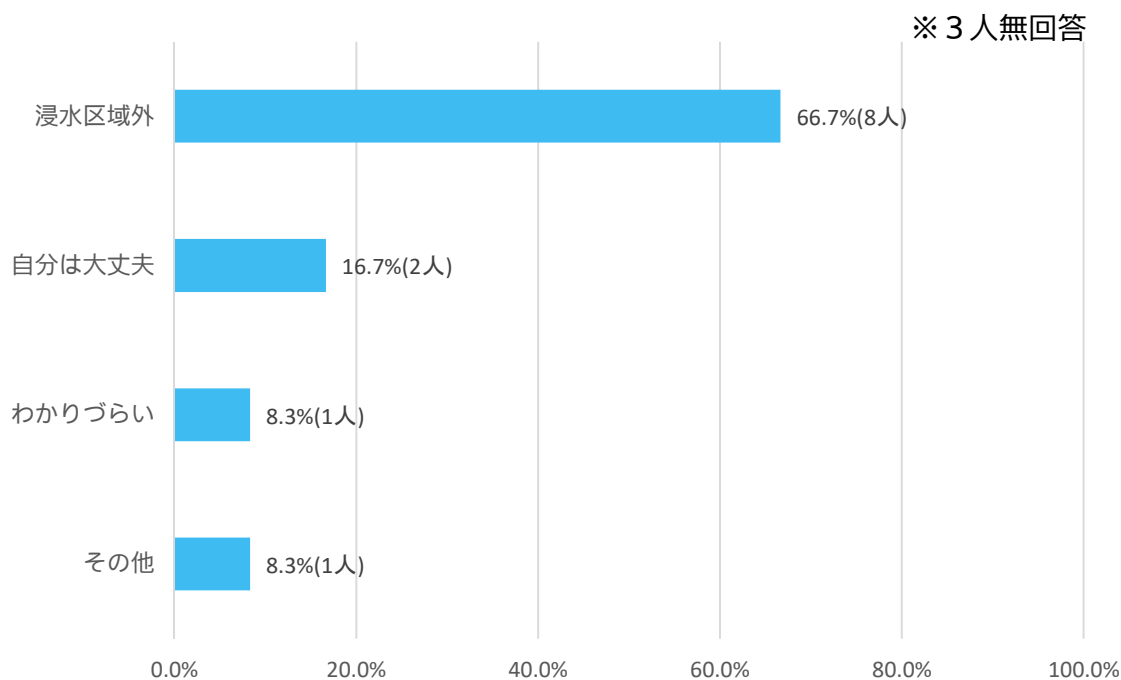


■ 既に活用している ■ 活用を考えている ■ 活用を考えていない

全体の95.2%は「既に活用している」もしくは「活用を考えている」と回答。  
年代別では、どの年代においても9割近くが「既に活用している」もしくは「活用を考えている」と回答。  
男女別においても、男性が94.7%、女性が95.7%と高い値を示した。

問18 問17で「活用を考えていない」を選択した方にお伺いします。それはなぜですか？  
(自由記述)

(回答者：15人)



■「活用を考えていない」を選択した方の主な意見

- ・自宅が高台のため深刻さがない
- ・浸水想定区域に住んでいない
- ・自宅は浸水被害の危険はない
- ・自分は被害にあわないと思う
- ・ハザードマップがわかりづらい

「活用を考えていない」を選択した方のほとんどが、「浸水区域外」に住んでいることを理由として挙げており、66.7%であった。次いで「自分は大丈夫」とした方が、16.7%、「わかりづらい」が8.3%であった。

自宅が浸水区域外だと、水害への防災意識が薄い傾向にあると思われる。自宅以外でも被災する恐れがあることから、引続きハザードマップの周知徹底を図っていく必要がある。

## 問19 その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください（自由記述）

（回答者：83人）

### 掲載方法・内容について

- ・防災情報が豊富なことに感心した。（70代 男性）
- ・今回の洪水ハザードマップはできがよいと思う。（80代 男性）
- ・今回の洪水ハザードマップの改訂で、ハザードマップの精度が上がったと思う。（40代 男性）
- ・洪水ハザードマップの改訂内容は分かりやすかったが、大きすぎて見づらいつ感じた。（40代 女性）
- ・配布されたハザードマップはサイズが大きく壁に貼るスペースがない。サイズについては再考をお願いしたい。（60代 男性）

### 周知・広報について

- ・自然災害も多く他人事には思えなくなっている。自治体の役割も大きく、周知させるのは大変なことと思いますがお願いします。（50代 女性）
- ・毎年各地で自然災害が多発しているので、いざというときに、どこが危ないのか知っていることは重要だと思う。市内でも電光掲示板などで知らせる手段があればいいと思う。（50代 女性）
- ・配布されたハザードマップは家族と確認したが、ウェブサイトにもいろいろ示されていることは知らなかった。知らない人は多いと思う。（50代 女性）
- ・アンケートを機に、もっと洪水ハザードマップを活用したいと感じた。市民の大部分は私と同じくらいの意識だと思うので、市の広報が必要だと思う。（60代 男性）

### 【市ウェブサイト】郡山洪水ハザードマップについて

- ・令和元年東日本台風（台風19号）の時はなかなかアクセスができなかった。サーバーの強化をお願いしたい。（30代 男性）
- ・昨年の水害の時には市ウェブサイトのハザードマップに全然繋がらなく非常に困った。（70代 男性）

### その他意見

- ・「郡山市地理情報システム」があることをこのアンケートで知った。是非見てみたい。（40代 女性）
- ・いつ洪水被害が出るか分からないので、きちんとハザードマップを確認しておこうと思う。（40代 女性）
- ・過去は大丈夫だったから…という安易な考えは捨てることが大事だと思う。（60代 女性）
- ・パソコンを持っていてニュースや情報を見るが、市のウェブサイトを見る習慣がなく、大切な情報があること、更新されていることなどを知らなかった。定期的に見る習慣をつけたい。（60代 男性）
- ・災害に対して比較的 safety 地帯（に住んでいる）との認識で、特に洪水はないものと思っていたが、無関心になっていることに反省している。（70代 男性）